

お客さま体感品質モニタリング・スマート

## 8. アラートの調整



8-0. 本マニュアルの見方

8-1. 最初の設定

8-2. アラートを受信して、確認する

8-3. アラートの現状把握

8-3. パターン1 アラートが課題を検知できていない

8-3. パターン2 過剰に発生しているアラート

8-4. 実際に調整する

## 8-0. 本マニュアルの見方

アラートについて、以下の疑問をよく伺います。  
「アラートからどうやって分析すればいいの？」 「どんな条件が適切なの？」

この疑問への回答は単純ではありません、なぜなら  
**企業・利用ユーザーそれぞれで、快適ではない、と感じる品質基準は異なり、最適なアラート条件は、企業さまによって違うからです。**

最適なアラート条件を設定するためには  
何度かPDCAサイクルを回し、調整を行う必要があります。

**本マニュアルでは、アラート設定のPDCAの回し方を説明します。**

※本マニュアルではアラート設定の**基本**操作方法是説明を省略します。操作方法については、マニュアル「6. アラート通知チャンネル」「7. アラートポリシー」をご参照ください。

## 8. アラートの調整

### 8-0. 本マニュアルの見方

以降のページの見方を説明します。

#### 8-1. 最初の設定 でアラート閾値の考え方と例を説明します。

別マニュアル 6. アラートチャネル、7. アラートポリシーを参考にしつつアラートを設定してみましょう。

#### 8-2. アラートを確認する では、

8-1 で設定したアラートを受け、分析を進める方法を説明します。

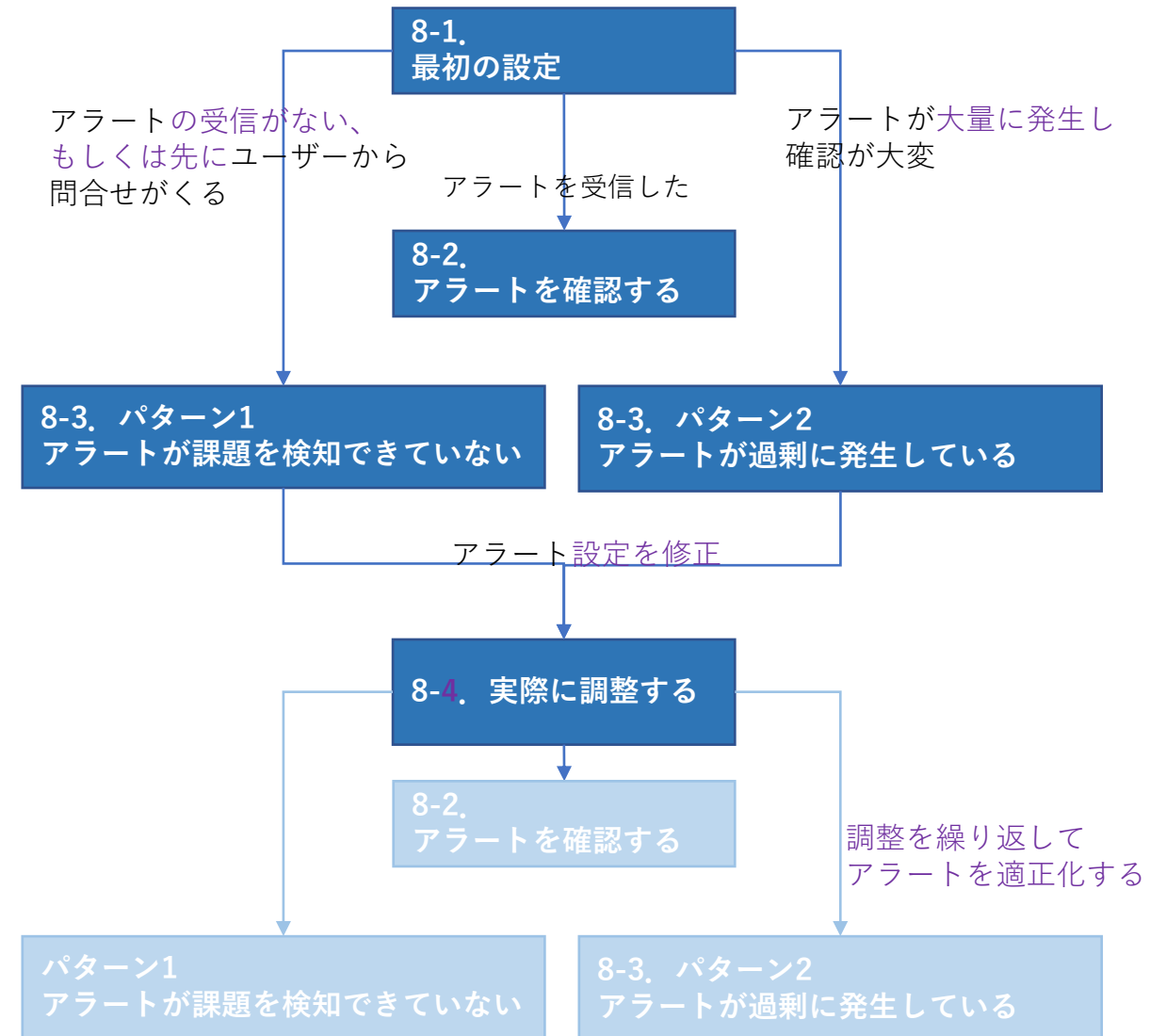
アラート設定後しばらく（目安1、2週間）運用しても、

- ・アラートを受信しない場合、または
- ・アラートを頻繁に受け取っている場合、

#### 8-3. アラートの現状把握 のパターン1、2を参照し行います。

#### 8-4. 実際に調整する でアラート設定を変更します。

以上の流れを繰り返し、ユーザーからの問合せ以前に検知できる理想的なアラート設定へ調整を行います。



## 8-1. 最初の設定

## 8. アラートの調整

### 8-1. 最初の設定

監視ターゲットとなるSaaSやWebサイトについては、  
推奨されている通信品質を確認し、それを閾値としたアラートを設定しましょう。

ターゲットとなるサービス提供元の企業があるSaaSやクラウドでは、  
SaaSのヘルプサイトや公式サイトで推奨値が公表されている事が大半です。  
Webサイトについては一般で言われているような通信品質を参考にしましょう。

一般的に推奨値がない社内のシステムサーバーなどの場合、  
対象ターゲットにしばらく監視を行い、  
平均的にはどれくらいの品質で通信ができているか、大よその値を把握し  
それを閾値として設定してみましょう。

まずは設定してみましょう！

設定しないことには今後のPDCAサイクルを始められません。

※次々ページに「よくあるWeb会議システムの推奨値」を記載しておりますのでご参考ください。  
※個別の推奨値の検索方法や具体的なサイトのURLといったお問合せはサービスでは対応しかねます。

※アラート設定の操作方法は説明を省略します。操作方法については、  
マニュアル「6. アラート通知チャンネル」「7. アラートポリシー」をご参照ください。

5 発生条件

しきい値

メトリックのしきい値を入力してください。実測値がメトリックのしきい値と乖離した場合、アラートが発生します。

比較演算子 しきい値 0

✓ より大きい 30 必須

間隔

事象発生からアラートを発生させるまでの時間を設定してください

時間 分

時間単位を入力してください 30 必須

## 8. アラートの調整

### 8-1. 最初の設定

間隔の設定は事象の継続時間を指しています。

以下の考えで設定してみます。

SaaSやWebサイトが遅い/繋がらない状況が、どれくらい続いたら

- ・ユーザーが不満に感じるか？
- ・業務に支障が出てしまうか？

例えば、Web会議が30分以上重たいと、

さすがにユーザーが不満を感じて問合せをしてくるんじゃないか。

1時間の打ち合わせの半分以上の時間がムダになり、ビジネスの損失につながる。

といった具合で間隔を決めます。

閾値と間隔は、設定後も調整が可能であり、今後最適化していきますので、最初にあまり深く悩まず、想定で設定してみることがポイントです。

**5 発生条件**

**しきい値**

メトリックのしきい値を入力してください。実測値がメトリックのしきい値と乖離した場合、アラートが発生します。

比較演算子 しきい値 0

✓ より大きい 30 必須

**間隔**

事象発生からアラートを発生させるまでの時間を設定してください

時間 分

時間単位を入力してください 30 必須

(参考) よく使われるWeb会議システムの推奨値例

サイト SaaS	URL	推奨値						発生期間
		コネクティビティ	レイテンシー	ジッター	ロス	HTTP可溶性	Wi-Fi信号強度	
Teams	https://world.tr.teams.microsoft.com	—	—	30 ms以上	10%以上	—	—	30分 ※公式が発表している値ではなく、あくまで目安
	world.tr.teams.microsoft.com	—	—	30 ms以上	10%以上	—	—	
Zoom	zoomty70mmr ty.zoom.us	—	150ms 以下	40ms 以下	2% 以下	—	—	
	zoomty70mmr ty.zoom.us	—	150ms 以下	40ms 以下	2% 以下	—	—	
	https://zoom.us	—	150ms 以下	40ms 以下	2% 以下	—	—	
	170.114.52.2	—	150ms 以下	40ms 以下	2% 以下	—	—	

## 8-2. アラートを確認する



## 8. アラートの調整

### 8-2. アラートを確認する

アラートを受け取ったとき、まずは何が起きているのか  
アラートの内容（次ページ以降の日時やモニタリングターゲット等）を  
確認しながら、必要に応じボトルネックを探っていきます。

①届いたアラートメールの「アラートページ」をクリックします。

 **NTT** | Service Experience Insights

現在発生中および解除済のアラートについて、[アラートページ](#)でご確認いただけます。

このメールは自動生成されたものです、返信は受付できません。  
アラート配信の設定は [通知チャネル](#) から変更することができます。

8. アラートの調整

8-2. アラートを確認する

②発生中（赤いランプが点灯している）アラートの  
エージェント、ターゲット、メトリック、開始時刻を  
確認します。  
以降の確認作業では以下の項目をメモなどしておくと便利です。

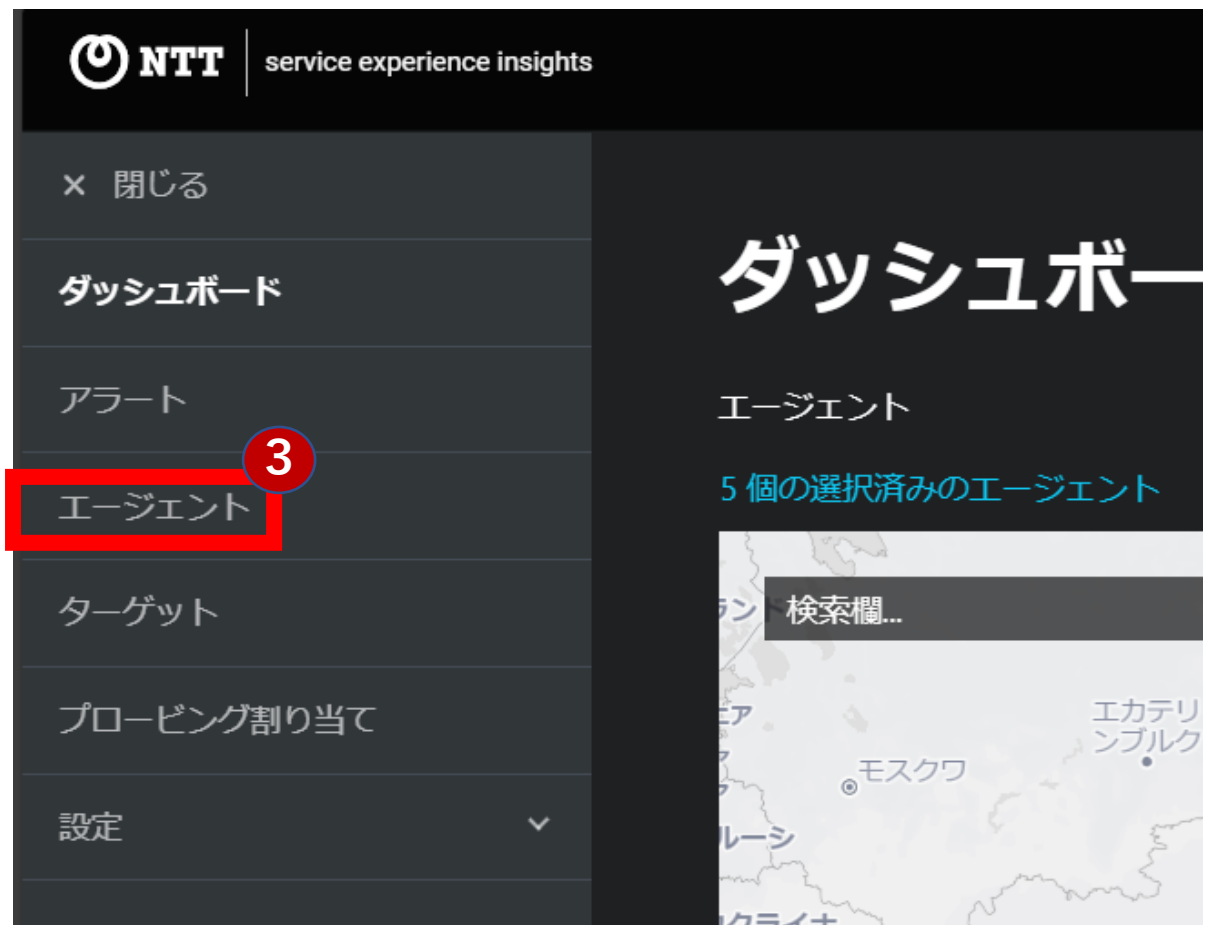
確認対象	
エージェント	開始時刻
ターゲット	メトリック



## 8. アラートの調整

### 8-2. アラートを確認する

- ③ダッシュボードにログインし、  
左側メニューのエージェントをクリックします



## 8. アラートの調整

### 8-2. アラートを確認する

④確認したエージェント名をクリックします



2023-11-13 10:58 to 2023-11-15 10:58 GMT +09:00

+ エージェントの追加

ページあたりの行数 25 件 4のうちの1 - 4 < > [Icon] [Icon]

✓	オン/オフ	名前	グループ	タグ	シリアル ナンバー	コネクティビティ	有効	タイプ	ターゲット プロト コル	外部IPア ドレス (v4/v6)	ローカル IPアドレ ス (v4/v6)	アクション
<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	A1000416	-		2BFPNF2		<input type="checkbox"/>	モバイル エーজে ント	-	153.246...	100.64...	...
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/>	TestPC	-		043616...		<input checked="" type="checkbox"/>	モバイル エーজে ント	-	106.152...	192.168...	...
<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	TestPC-TS01	-		3BKSA1...		<input checked="" type="checkbox"/>	モバイル エーজে	-	122.210...	10.141...	...

## 8. アラートの調整

### 8-2. アラートを確認する

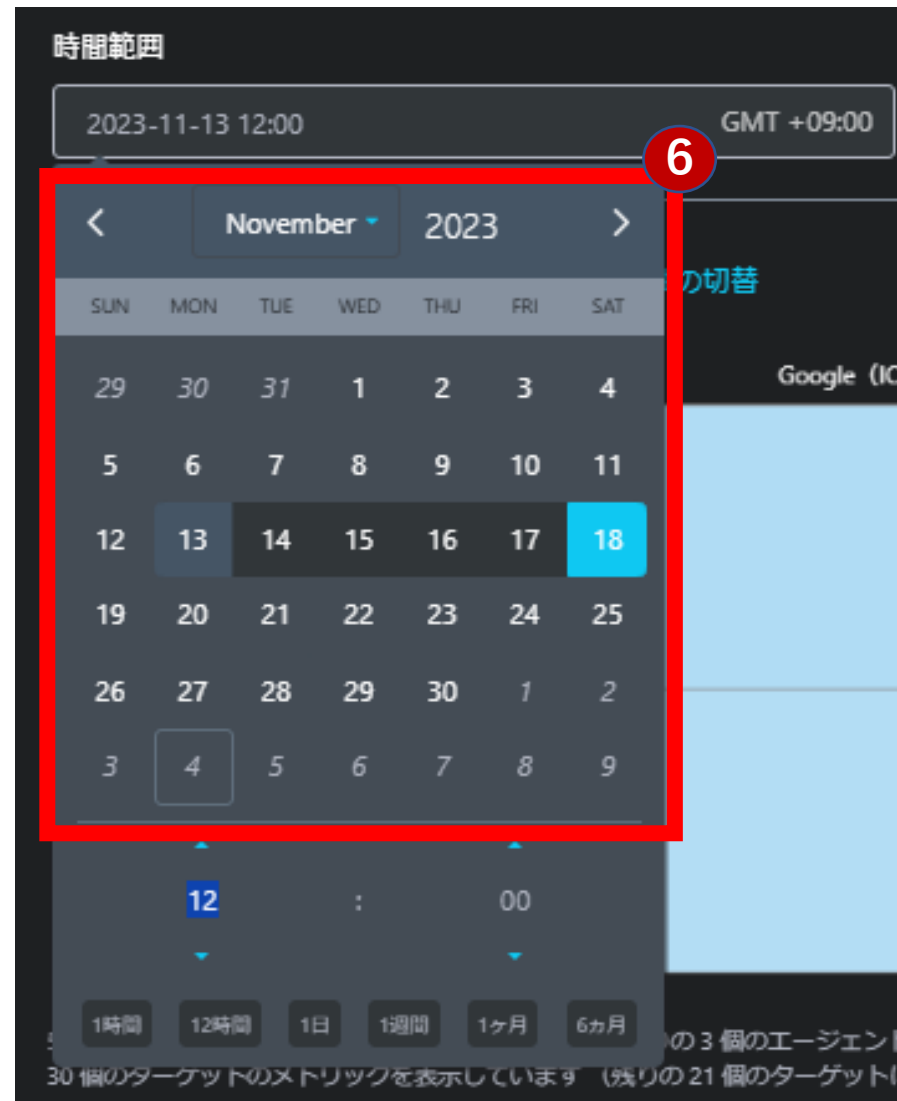
⑤時間範囲をクリックします



## 8. アラートの調整

### 8-2. アラートを確認する

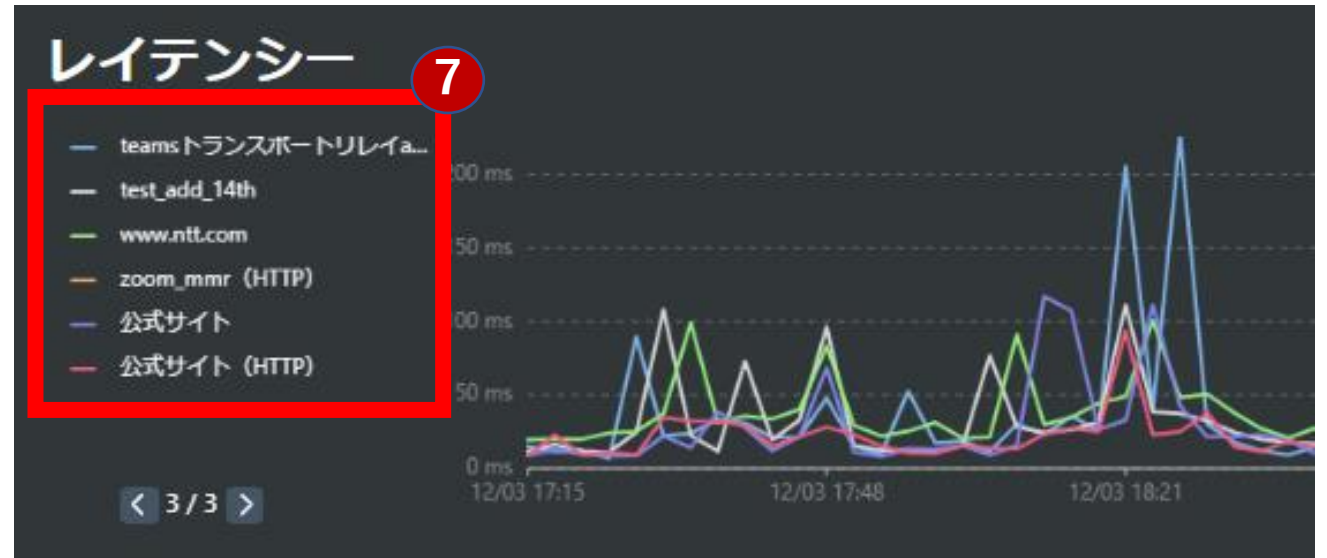
- ⑥ 確認した事象発生時刻の、前後3日程度を選択します  
カレンダーをドラッグすることで範囲指定できます。



## 8. アラートの調整

### 8-2. アラートを確認する

- ⑦確認したメトリックの棒グラフの  
横に表示されているターゲット名の中から  
メモしたターゲット名をクリックします



## 8. アラートの調整

### 8-2. アラートを確認する

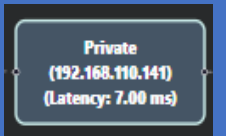
#### ⑧画面を下部へスクロールし、パスディスカバリーを確認します

パスディスカバリーとは、  
ある時間、エージェントが送った測定パケットが  
どのような経路でターゲットまで到達したかを示しています。

※パスディスカバリーが表示されていない場合、  
プロービング設定でパスディスカバリーが設定されていない可能性があります  
「5. プロービング割り当て\_お客さま体感品質モニタリング・スマート」を  
参考にパスディスカバリーを有効にしてください。

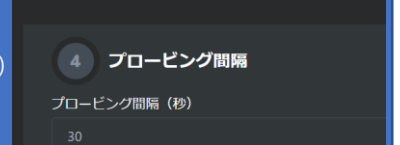


- ・ 四角枠は経路上の機器を示します。Ping応答をしない機器は表示されません。
- ・ ターゲットから四角枠までのレイテンシーは、  
四角枠内のIPアドレスの下部に記載されます（右下図参照）



- ・ 試験頻度は、プロービング設定時に選んだパスディスカバリー間隔あたり10回です。
- ・ Unknownは 上記頻度の試験の中で  
1回でも機器から応答がなかったときに表示されます。  
(当該機器のリソース不足など様々な理由が考えられます)

#### プロービング割り当ての追加





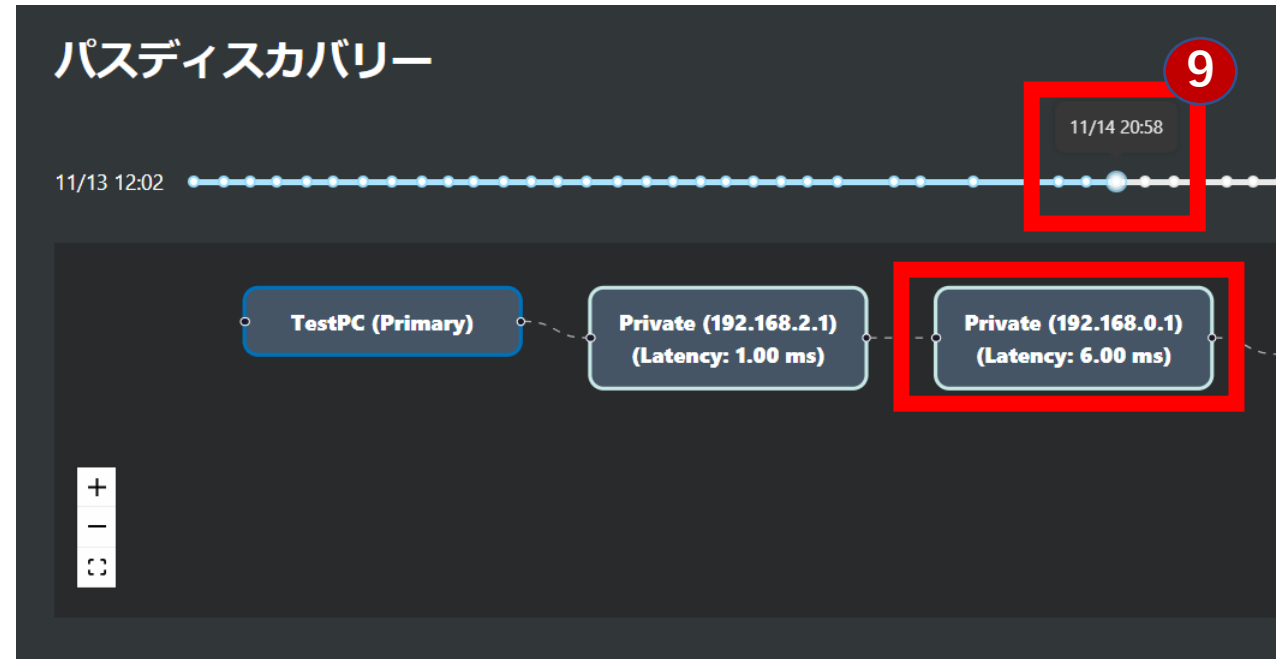
## 8. アラートの調整

### 8-2. アラートを確認する

⑨バーに表示されている○印を操作して、  
確認した開始時刻の付近に表示を合わせます。

最もレイテンシーの値が高いホップを見つけます。  
このホップの周辺がボトルネックになっていると推測されます。  
必要に応じて、改善策をご検討ください。

(例：対象機器のパフォーマンス/ログ確認、通信経路変化の有無)



※パスディスカバリーは標準1時間、設定により最短5分間隔で取得します。  
※事象発生時間およびパスディスカバリー間隔の設定によっては、アラートが発生したタイミングでの経路を見ることができません。  
※各Hopのレイテンシーは、エージェントとHopが直接通信したときの数値を示しています。  
※より詳細な調査をお求めの方は、別サービス[お客さま体感品質モニタリング](#)のご利用をご検討ください。  
(お客さま問合せ画面（弊社ビジネスポータル）からも相談いただけます)

### 8-3. アラートの現状把握

## 8. アラートの調整

### 8-3. アラートの現状把握

8-1. 最初に設定したアラートでは、適切な運用ができないと思われる場合、最適なアラートに調整を行っていきます。

**適切な運用ができないアラートとは、以下のような状況にあることを指します。**

**ご自身の状況に近い以下のパターンのスライドを参照して状態を確認してください。**

- ・パターン1 アラートが課題を検知できていない  
(例：アラートが無い、受信前から、ユーザーからのクレームを受けている) → p20~28を参照
- ・パターン2 アラート条件に対して通知が多い  
(例：頻繁にアラートが発生するが、ユーザーからのクレームはない) → p33~42を参照

**いずれかのパターンを参考に現状が確認ができたなら、「8-4.実際に調整する(p44~50)」を参考に調整を行います。**

### 8-3. パターン1 アラートが課題を検知できていない

## 8. アラートの調整

### 8-3. パターン1 アラートが課題を検知できていない

一般的にアラートとは、  
ユーザーの不満が高まる前に、情シス部門が課題に気づくために設定されるものです。

即ち、ユーザーから問合せが来るが、まったくアラートが通知されない状況は  
理想的なアラートが設定できていない状況です。

上記のような場合、  
一般的には以下の2つの原因でアラートが不適切と考えられます。

- ・アラートの閾値が緩すぎる
- ・アラートの間隔（検知する事象の継続時間）が長すぎる

次ページからの手順でアラートを調整しましょう。

8. アラートの調整

8-3. パターン1 アラートが課題を検知できていない

①ユーザーから、遅延などの課題について、以下の点をヒアリングします

- ・ターゲット（どのシステム、Webサイトを利用するとき）
- ・拠点（〇〇支社、在宅…）
- ・課題が起きはじめた時間（〇月×日 △時～●月×日 ▲時）
- ・発生時の状態（表示が遅い、繋がらない…）

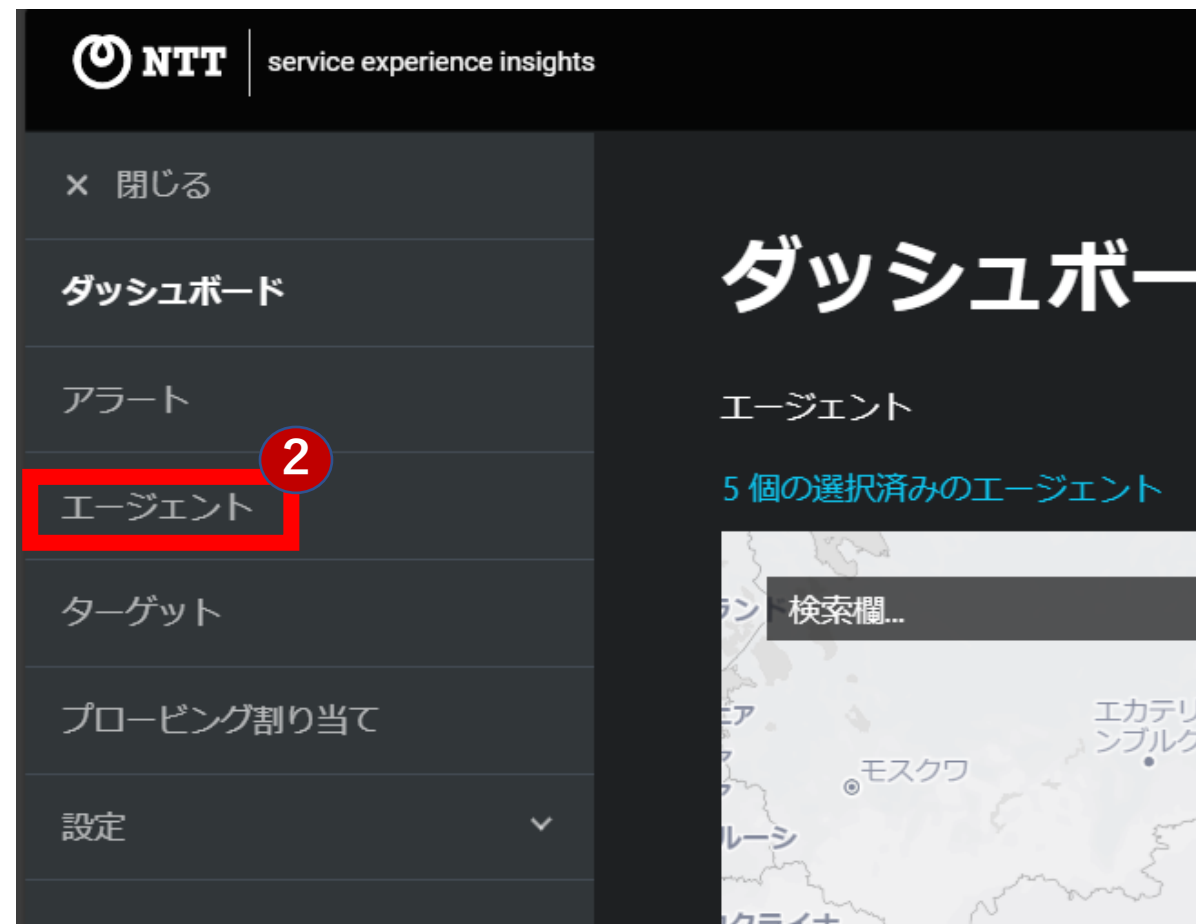
ヒアリングした以下の項目をメモなどしておくと便利です。

メモ	
拠点	課題が起きはじめた時間
ターゲット	

## 8. アラートの調整

### 8-3. パターン1 アラートが課題を検知できていない

- ②ダッシュボードにログインし、  
左側メニューのエージェントをクリックします



## 8. アラートの調整

### 8-3. パターン1 アラートが課題を検知できていない

- ③ユーザーからヒアリングした拠点を監視しているエージェント名を確認します。

確認した中のいずれかのエージェント名をクリックし、ページを開きます。



✓	オン/オフ	名前	グループ	タグ	シリアルナンバー	コネクティビティ	有効	タイプ	ターゲットプロトコル	外部IPアドレス (v4/v6)	ローカルIPアドレス (v4/v6)	アクション
■	●	A1000416	-		2BFPNF2		●	モバイルエージェント	-	153.246...	100.64...	...
■	●	TestPC	-		043616...		●	モバイルエージェント	-	106.152...	192.168...	...
■	●	TestPC-TS01	-		3BKSA1...		●	モバイルエージェント	-	122.210...	10.141...	...



## 8. アラートの調整

### 8-3. パターン1 アラートが課題を検知できていない

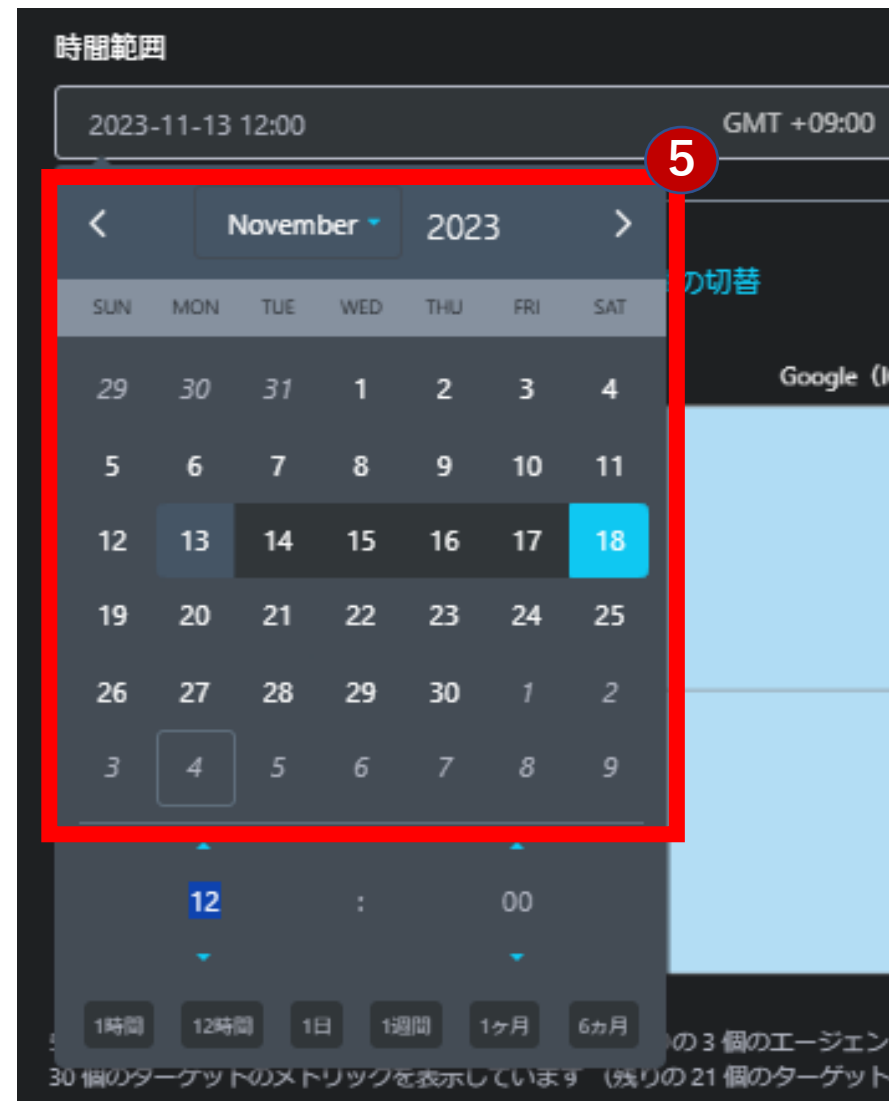
④画面上部の時間範囲をクリックします。



## 8. アラートの調整

### 8-3. パターン1 アラートが課題を検知できていない

- ⑤カレンダーが開きます、ドラッグ&ドロップで範囲指定ができます。  
ユーザーにヒアリングした、課題がおきはじめた日の 0:00 より、  
翌日の 0:00までを選択選択します。  
事象が既に発生している場合、または継続している場合は、事象が  
発生している期間が含まれる様に範囲を広げます。



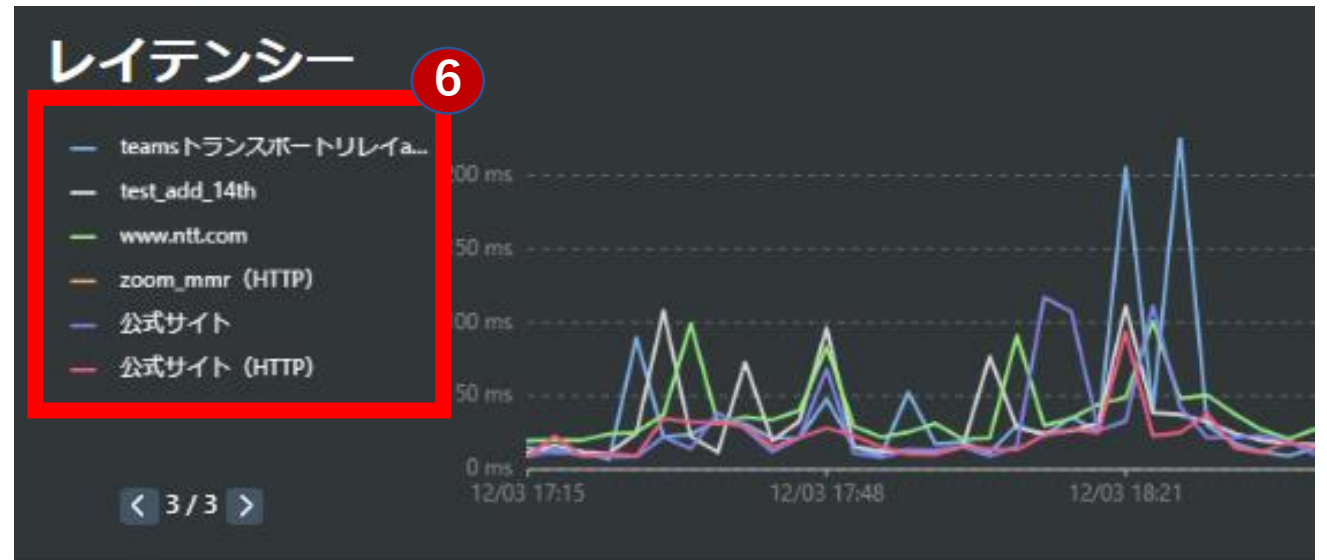
## 8. アラートの調整

### 8-3. パターン1 アラートが課題を検知できていない

⑥折れ線グラフの左側にターゲット名が表示されています。

ユーザーにヒアリングしたターゲットをクリックします。  
該当のターゲットが無い場合は、類似のターゲットを選択します。

今回の例では「Teams\_transport\_relay」をクリックします。



## 8. アラートの調整

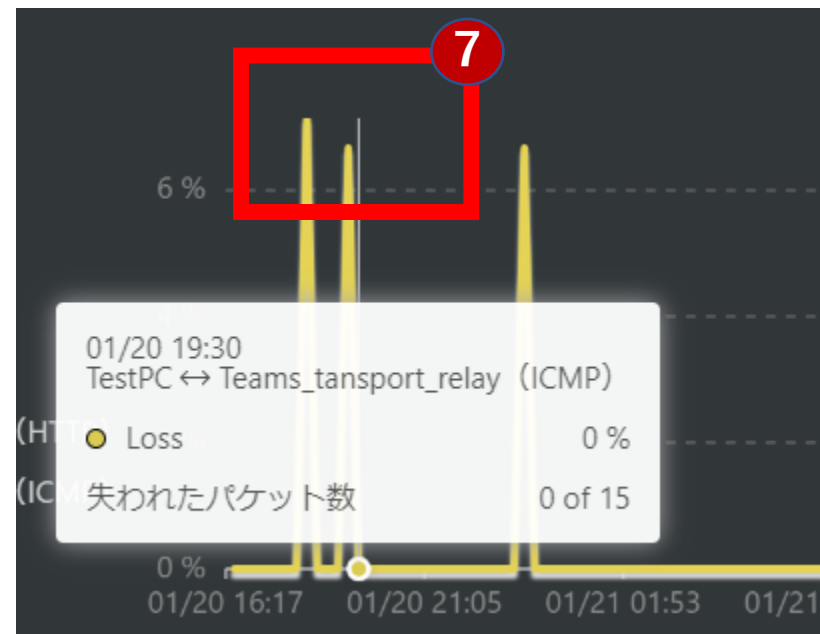
### 8-3. パターン1 アラートが課題を検知できていない

⑦一例として、折れ線グラフが顕著に値が振れているところを探します。

顕著に振れているグラフのメトリック、振れている部分の  
およその値を閾値として、閾値超えの継続時間を間隔として控えます。

例えば右図の場合は、下記の通りとなります。

- ・メトリック = ロス
- ・閾値 = >7%
- ・間隔 = 20分 (1/20 19:10~19:30) ※グラフが振れている期間



※折れ線グラフにマウスカーソルを合わせると、  
グラフの詳細な値を見ることが出来ます。

## 8. アラートの調整

### 8-3. パターン1 アラートが課題を検知できていない

- ⑧アラートページに移動し、  
アラートポリシー一覧を確認します。

確認したターゲット、エージェント、メトリックから、  
監視しているアラートポリシー名を特定します。

# アラート

アラート   **アラートポリシー**   通知チャンネル

+

 アラートポリシーを追加する

▼

   ページあたりの行数   25 件   1のうちの1 - 1   < >   🗉 ⚙️

名前	説明	メトリック	アラート発生中	有効	作成日時	更新日時	アクション
Test	Test	レイテンシ	0	<input checked="" type="checkbox"/>	2023-04-06 14:12:17	2023-04-06 14:12:22	...

ページあたりの行数   25 件   1のうちの1 - 1   < >

## 8. アラートの調整

### (参考) ボトルネック調査

ネットワーク調査の観点から、エージェントのグラフを確認する際に、アラートと合わせてボトルネックも分析しておきましょう。画面を下部へスクロールし、パスディスカバリーを確認します。



※パスディスカバリーが表示されていない場合、プロービング設定においてパスディスカバリーが設定されていない可能性があります  
「5. プロービング割り当て\_お客さま体感品質モニタリング・スマート」を参考にパスディスカバリーを有効にしてください。

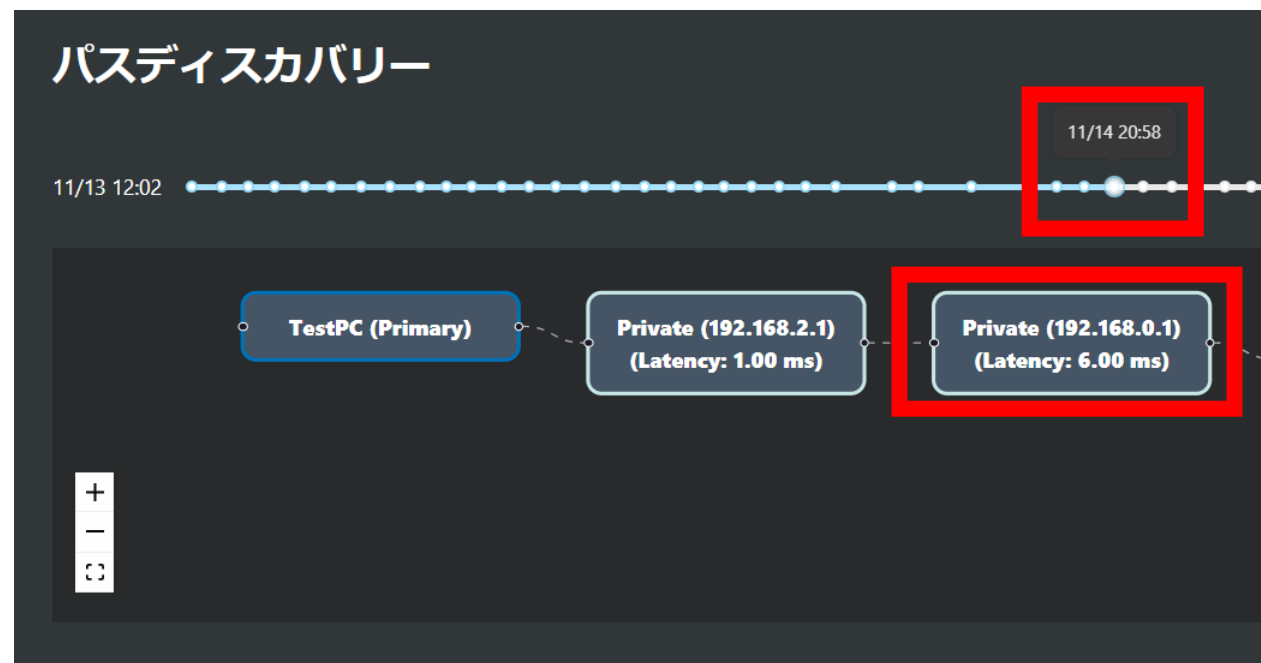
## 8. アラートの調整

### (参考) ボトルネック調査

バーに表示されている○を操作すると日時が変更されます。  
ユーザーにヒアリングした日時の近辺で  
最もレイテンシーの値が高いホップを見つけます。

このホップの周辺がボトルネックになっていると推測されます。  
必要に応じて、改善策をご検討ください。

(例：対象機器のパフォーマンス/ログ確認、通信経路変化の有無)



※パスディスカバリーは標準1時間、設定により最短5分間隔で取得します。

※事象発生時間およびパスディスカバリー間隔の設定によっては、アラートが発生したタイミングでの経路を見ることができません。

※各Hopのレイテンシーは、エージェントとHopが直接通信したときの数値を示しています。

※Comによるより詳細な調査をお求めの方は、別サービス[お客様体感品質モニタリング](#)のご利用をご検討ください。

(お客様問合せ画面（弊社ビジネスポータル）からも相談いただけます)

### 8-3. パターン2     アラートが過剰である



## 8. アラートの調整

### 8-3. パターン2     アラートが過剰である

アラートが必要以上に通知されると、担当者の稼働を逆にひっ迫することになります。

アラートは頻繁に発信されるが、ユーザーからの問合せが一切来ていない状況は、  
過剰なアラート設定をしていると考えられます。

上記のような場合、

一般的には以下の2つの原因でアラートが不適切と考えられます。

- ・ **アラートの閾値が厳しすぎる**
- ・ **間隔（検知する事象の継続時間）が短すぎる**

次ページからの手順でアラートを確認しましょう。

## 8. アラートの調整

### 8-3. パターン2 アラートが過剰である

- ①受信したアラートメールに記載されている  
アラートページをクリックします。

このとき、アラートポリシーの名前、  
メールを受け取った時間＝課題が起き始めた時間を  
確認します。

以降の確認作業では以下の項目をメモなどしておくと便利です。

メモ	
アラートポリシー	課題が起きはじめた時間
ターゲット	メトリック
閾値	間隔
エージェント	

### Service Experience Insights アラート: Test アラートポリシー

EA

EdgeLQ Alert Notification <noreply@monitoring.edgelq.com>  
宛先

返信 全員に返信

このメッセージの表示に問題がある場合は、ここをクリックして Web ブラウザーで表示してください。  
画像をダウンロードするには、ここをクリックします。プライバシー保護を促進するため、メッセージ内の画像は自動的にダウンロードされません。

[noreply@monitoring.edgelq.com](mailto:noreply@monitoring.edgelq.com) からのメールを受け取る頻度は高くありません。[このことが重要である理由](#)



こちらは [Smart Demo](#) プロジェクトのアラート通知です。

レイテンシー アラート

日時(UTC)	アラート状態	アラートポリシー	アラートID
<a href="#">2024-01-19T06:05:00Z</a>	発生中	<a href="#">Test</a>	2024-01-19T06:05:00Z-swweceb

現在発生中および解除済のアラートについては、[アラートページ](#)でご確認いただけます。

このメールは自動生成されたものです、返信は受付できません。  
アラート配信の設定は [通知チャネル](#) から変更 することができます。

## 8. アラートの調整

### 8-3. パターン2 アラートが過剰である

②アラート一覧が開きますので、  
ターゲット列に表示されているターゲット名を確認します。

先ほど確認したアラートポリシー名をクリックします。

アラート

アラート アラートポリシー 通知チャネル

1  
▲ アラート発生中  
全期間

1  
▲ 直近のアラート  
過去7日間

▲ 発生中  
過去7日間

2024-01-15 17:53 to 2024-01-22 17:53 GMT +09:00

▼

ステータス	開始時刻	終了時刻	エージェント	ターゲット	ポリシー
●	2024-01-19 15:05:00		Demo	Teams_transport_relay (ICMP)	Test

## 8. アラートの調整

### 8-3. パターン2      アラートが過剰である

③アラートが検知されたメトリックを確認します。

Test

アラート

エージェント

ターゲット

1

▲ アラート発生中  
全期間

1

▲ 直近のアラート  
過去7日間

1

▲ 発生中の直近のアラート  
過去7日間

0

▲ 解決済みのアラート  
過去7日間

メトリック

レイテンシー

通知チャンネル  
メール

TestUma

作成日時  
2023-04-06 14:12:16

更新日時  
2024-01-19 15:10:07

有効 ☒

対象ターゲット数  
3

しきい値  
> 50 ms, > 5 分

2024-01-15 17:53 to 2024-01-22 17:53 GMT +09:00

▼

ページあたりの行数 25 件 1のうちの1 - 1 < > [ ] [ ]

ステータス	開始時刻	終了時刻	エージェント	ターゲット	間隔
●	2024-01-19 15:05:00		Demo	Teams_transport_relay (ICMP)	3 日 2 時間 52 分 27 秒

## 8. アラートの調整

### 8-3. パターン2      アラートが過剰である

④エージェントタブをクリックします。

Test

アラート

エージェント

ターゲット

1

▲ アラート発生中  
全期間

1

▲ 直近のアラート  
過去7日間

1

▲ 発生中の直近のアラート  
過去7日間

0

▲ 解決済みのアラート  
過去7日間

説明

Test

通知チャネル

作成日時

2023-04-06 14:12:16

メトリック

レイテンシー

メール

TestUma

更新日時

2024-01-19 15:10:07

対象エージェント数

1

有効

対象ターゲット数

3

しきい値

> 50 ms, > 5 分

2024-01-15 17:53 to 2024-01-22 17:53

GMT +09:00

▼

ページあたりの行数

25 件

1のうちの1 - 1

◀

▶

🔍

⚙️

ステータス	開始時刻	終了時刻	エージェント	ターゲット	間隔
●	2024-01-19 15:05:00		Demo	Teams_transport_relay (ICMP)	3 日 2 時間 52 分 27 秒

## 8. アラートの調整

### 8-3. パターン2     アラートが過剰である

⑤エージェント一覧が表示されるので、  
表示されたすべてのエージェント名を確認し控えます。

いずれかのエージェント名をクリックします。



## 8. アラートの調整

### 8-3. パターン2 アラートが過剰である

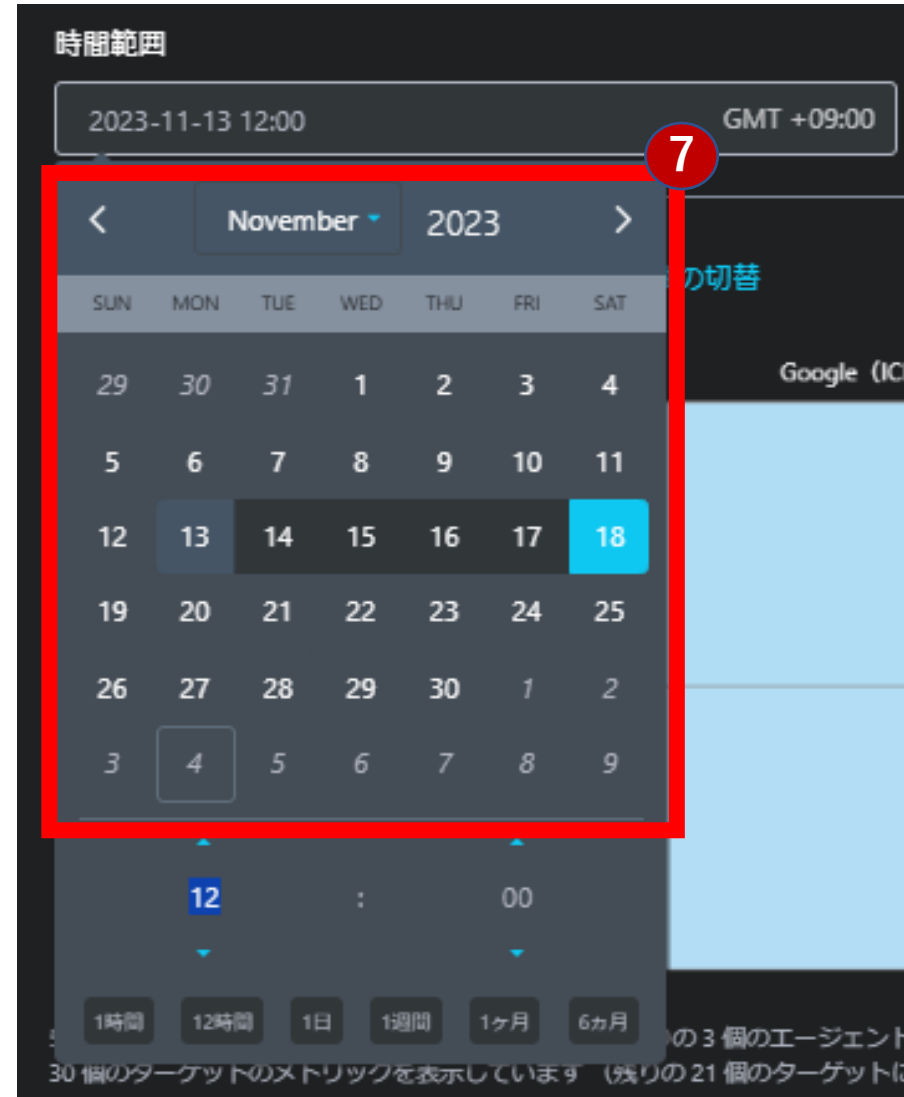
⑥画面上部の時間範囲をクリックします。



## 8. アラートの調整

### 8-3. パターン2 アラートが過剰である

- ⑦カレンダーが開きます、ドラッグ&ドロップで範囲指定ができます。  
メモしてある課題が発生し始めた日の 0:00 より、翌日の 0:00 までを選択選択します。  
事象が既に発生している場合、または継続している場合は、事象が発生している期間が含まれる様に範囲を広げます。





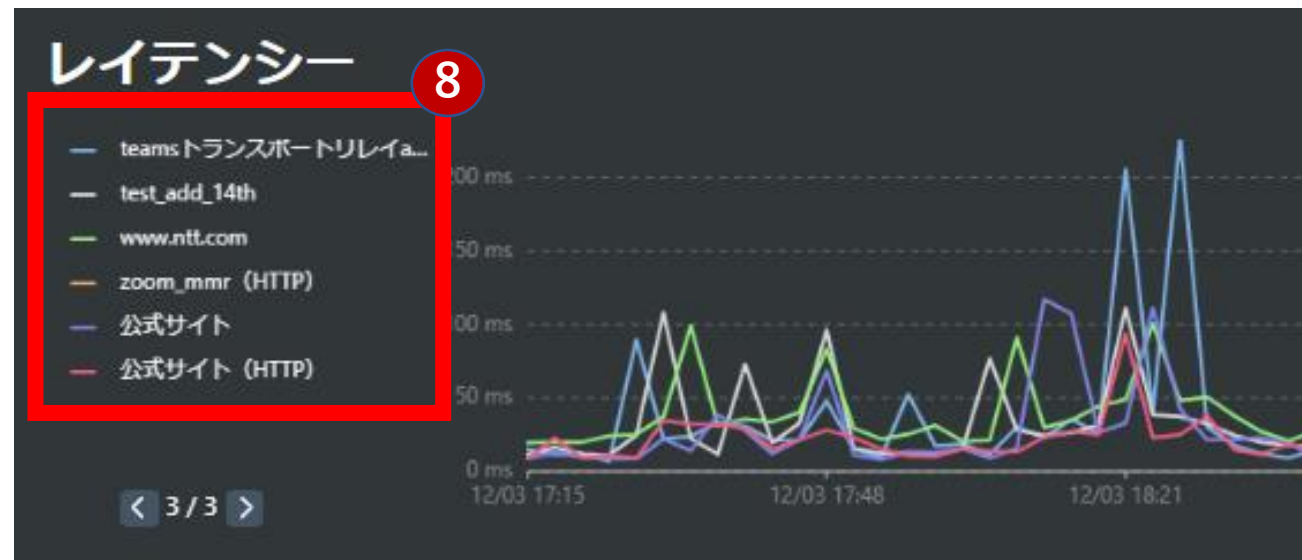
## 8. アラートの調整

### 8-3. パターン2 アラートが過剰である

⑧折れ線グラフの左側にターゲット名が表示されています。

確認していたターゲットをクリックします。

今回の例では「Teams\_transport\_relay」をクリックします。



## 8. アラートの調整

### 8-3. パターン2 アラートが過剰である

⑨確認したメトリックのグラフにおいて、  
グラフが、メモした閾値を超える回数・時間に着目します。

一例として、アラートを受信しているが、

- ・もっと長い継続時間の閾値超えを検知したい場合、  
今のポリシーの間隔を延ばす（図1）
  - ・閾値を超えている回数が多い場合、閾値を上げる（図2）
- というように判断します。

調整すべき閾値と間隔を想定し値を控えます。

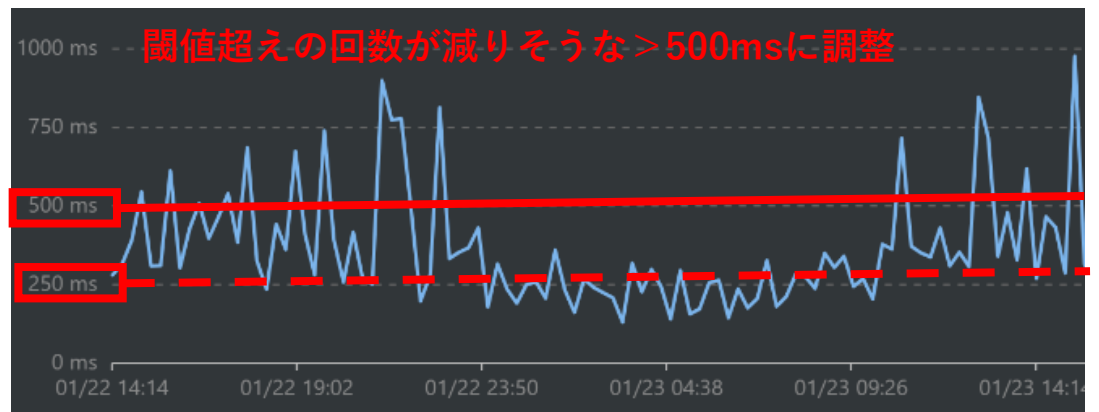
調整する値の目途がつきましたら、

「8-4. 実際に調整する」で実際に調整しましょう。

（図1）短時間しか閾値を超えていない



（図2）閾値を超える回数が多い



#### 8-4. 実際に調整する

## 8. アラートの調整

### 8-4. 実際に調整する

8-3. アラートの現状把握 のパターン1、2、どちらの場合でも、右表と同様の項目を確認し、メモなどをされていると思われます。

**確認してきた値を使ってアラートの調整を実施しましょう。**

メモ	
アラートポリシー	課題が起きはじめた時間
ターゲット名	メトリック
閾値	間隔
エージェント名	

## 8. アラートの調整

### 8-4. 実際に調整する

#### ①アラートポリシー一覧を見ます。

メモしたターゲット、エージェント、プロービングを  
監視しているアラートポリシーの

 アイコンをクリックします



The screenshot shows the 'Alerts' management interface. The 'Alert Policies' tab is selected. A table lists alert policies with columns: Name, Description, Metric, Alert Status, Effective, Created Time, Updated Time, and Action. The first policy is 'Test'. The 'Action' column for the first policy contains a three-dot icon, which is highlighted by a red box with the number '1'.

名前	説明	メトリック	アラート発生中	有効	作成日時	更新日時	アクション
Test	Test	レイテンシ	0	<input checked="" type="checkbox"/>	2023-04-06 14:12:17	2023-04-06 14:12:22	

## 8. アラートの調整

### 8-4. 実際に調整する

②  編集 をクリックします

作成日時	更新日時	アクション
2023-05-12 11:42:23	2023-05-12 16:47:39	...
2023-04-27 17:50:18	2023-05-12 16:47:38	<div><div> 編集</div><div> 削除</div></div>
2023-10-31 10:03:12	2023-10-31 10:03:54	...

2

## 8. アラートの調整

### 8-4. 実際に調整する

③アラートの閾値を見直します。

画面を「⑤発生条件」までスクロールしてください。

ここまでで確認した値に閾値を変えてください。

5 発生条件

しきい値

メトリックのしきい値を入力してください。実測値がメトリックのしきい値と乖離<sup>3</sup>した場合、アラートが発生します。

比較演算子

しきい値 0

演算子を選択してください

アラートが発生するためのメトリック

必須

間隔

事象発生からアラートを発生させるまでの時間を設定してください

時間

分

時間単位を入力してください

分単位を入力してください

必須

## 8. アラートの調整

### 8-4. 実際に調整する

④時間間隔を見直します。

ここまでで確認した値に閾値を変えてください。

5

発生条件

しきい値

メトリックのしきい値を入力してください。実測値がメトリックのしきい値と乖離した場合、アラートが発生します。

比較演算子

しきい値 0

演算子を選択してください

アラートが発生するためのメトリック

必須

間隔

事象発生からアラートを発生させるまでの時間を設定してください

時間

分

時間単位を入力してください

分単位を入力してください

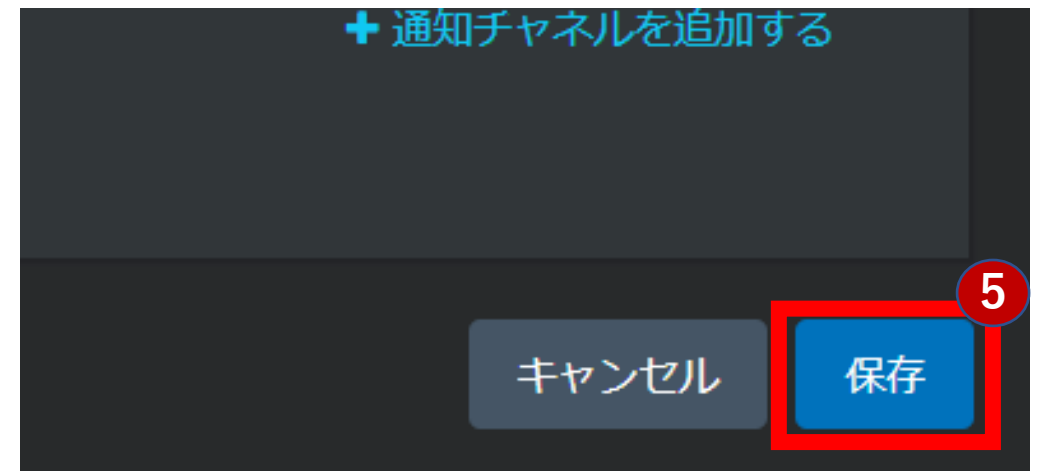
4



## 8. アラートの調整

### 8-4. 実際に調整する

⑤保存をクリックすれば、アラートの調整が完了です。



## 8. アラートの調整

### 8-4. 実際に調整する

⑥新しいアラート設定に変更後、一定期間運用してみます。

事象が解消されずアラートが適切ではないと感じた際は、

**再びスライド19ページ**に戻り、自身が下記いずれのパターンに陥っているのかを確認し、  
それぞれのパターンでの対応を再度実施してください。

- ・パターン1 アラートが課題を検知できていない  
(例：アラートの受信がない、もしくは先にユーザー問合せがくる)
- ・パターン2 アラートが過剰である  
(例：アラートが大量に発生するが、ユーザーからの問合せはない)